

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	建築演習 1	
科目基礎情報							
開設学科	建築設計科		コース名			開設期	前期
対象年次	1年次		科目区分	必修		時間数	60時間
単位数	2単位					授業形態	講義、実習
教科書/教材	「就活ドリル はじめての一般常識」／必要に応じ資料を配布						
担当教員情報							
担当教員	大沢 公仁、岩田 明士			実務経験の有無・職種	有・建築設計 一級建築士		
学習目的							
この科目を受講する学生は、建築の仕組みや仕事を理解し興味を持つこと、そしてどのように職種につきたいかを考えることが第一の目的である。そして、業界研究をし就活に向けての基礎知識を身につけることを目指すものである。また、社会でもとめられるコミュニケーション力を身につけていく狙いもある。							
到達目標							
この科目では、学生が日々活動している社会の中で自分を位置付けること、業種・企業・職種を自分の適性や興味・関心と結びつけて理解すること、社会にでてから活動するために必要な能力を具体的にイメージすること、社会や組織で協働することの重要性を理解することなどができるようになることを目標にしている。							
教育方法等							
授業概要	この授業では、就職・進路に対する意識を高めること。コミュニケーション能力を身につけ就活に対するスキルを高めることを目指す。そのために、現在の建築業界の状況を理解し、団体行動をとることにより社会のマナーを身につけ、コミュニケーション能力を高めルことを目指す。						
注意点	この授業では、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。就活においては、自分でも情報を収集し考えること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は不合格とする。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	レポート	70%	業内容の理解度を確認するために実施する				
	出席状況	20%	時間を守り授業の取り組み度合いを評価する				
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容		各回の到達目標				
1回	学生と社会人の違いを認識する		社会が必要としているスキルを理解し学校で学ぶ意味を理解する				
2回	働く意味について考える		仕事や働き方を選ぶ基準について理解する				
3回	職種について考える		幅広い職種を理解し、分析する				
4回	なりたい自分をイメージする		自分の現在の目標を確認する				
5回	研修		宿泊をすることで団体行動の大切さやコミュニケーション能力を身につける				
6回	研修		宿泊をすることで団体行動の大切さやコミュニケーション能力を身につける				
7回	研修		宿泊をすることで団体行動の大切さやコミュニケーション能力を身につける				
8回	研修		宿泊をすることで団体行動の大切さやコミュニケーション能力を身につける				
9回	建築見学会		建築物を見学しスケッチして建築に触れる				
10回	就職試験対策		就活ドリルを用いて就職試験対策に取り組む				
11回	就職試験対策		就活ドリルを用いて就職試験対策に取り組む				
12回	就職試験対策		就活ドリルを用いて就職試験対策に取り組む				
13回	就職試験対策		就活ドリルを用いて就職試験対策に取り組む				
14回	建築見学会		有名建築物を見学し建築の楽しさを理解する				
15回	選抜講評会		設計製図の作品成果発表会を聴講し他学生の作品を理解する				